

農協と組合員をつなぐ広報誌

未来牧場 なかしゅんべつ future-farm



(株)なかしゅんべつ未来牧場研修生・職員一同

目次

未来牧場研修生紹介	2~3	JAグループ通信	9
営農対策情報	4	青年部、女性部活動	10
同志会のページ	5~6	理事会の動き	11
別海高校活動報告	7	組合員の広場	12
生乳課情報	8		



2月号

2021 Vol. 517

ほ育・育成管理は「はかる」 ことが重要です！

育成牛の姿はほ育牛管理の結果であり、未来の搾乳牛の姿を示しています。育成牛の発育改善には、骨格が著しく発達する6カ月齢までの管理がと

りわけ重要です。今月は、「はかる」をテーマに育成牛の発育改善を考えてみます。

1. 配合の重さを「量る」

図1は、配合スコップ1杯の重さを正確に量ることをきっかけとし、発育改善に取り組んだ事例の成果です。この事例は、経年劣化したスコップを使用していたため、想定した量より700g/回も少ない給与量となっていました。また、比重が異なるビートパルプも配合飼料と同じ1杯で給与している事例も見られます。

配合飼料の給与量が想定した量よりもずいぶんズレていることが多々あります。これは、育成牛に限ったことではありませんが、気温の低い冬場は育成牛の飼料要求率が高くなるため、

「はかる」の見直しが最も効果のあるタイミングです。

この機会に、ぜひ1杯の重さを正確に量り給与量の改善を進めましょう。

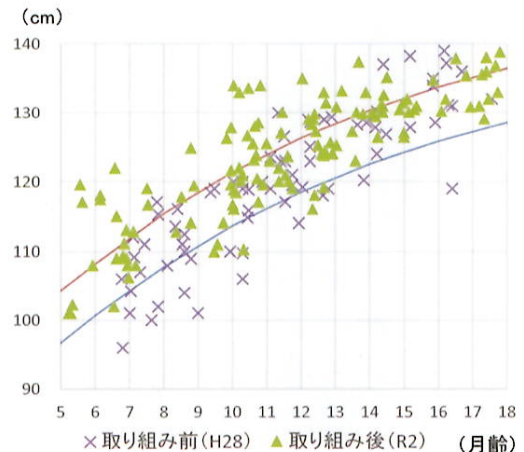


図1 改善前後の発育の違い（体高）

2. 代用乳の重さを「量る」、温度を「測る」

代用乳を溶かす際に、**カップ1杯にお湯〇ℓ**という目安がよく聞かれます。実際にミルクを計り直すと目分量との差が大きい場合や、紙袋の上部と下部では、密度が違っているのでカップ1杯の重さが変わることがあります。

大事なのは、**代用乳の濃度が毎回同じになることなので、ときどきカップ1杯の重さを確認する習慣が必要です**（図3）。

理想は毎回、代用乳の重さを量り、温度を測ることで代用乳を「定濃度」と「定温」で給与できます。

3. 育成牛の体格を「測る」

図1のように継続的に育成牛の体高や体重を測ると次第に改善が必要なグループが見えてきます。興味のある方はぜひ普及センターにご連絡下さい。



図2 農場でスコップ1を計算



図3 代用乳の量を確認する事例



一日でも早い 収束を願う

中春別乳牛改良同志会では、1月22日(金)に書面議決にて定期総会を開催しました。

議長には中春別地区・佐々木靖裕さんが選出され、採決が執り行われました。

議案第1号「令和2年度事業報告及び収支決算書について」

議案第2号「令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」

議案第3号「令和3年度会費の賦課・並びに徴収方法(案)について」

が上程され、すべて可決承認されました。

依然、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい情勢下ではありますが、一つでも多くの事業が展開できるように必要な方策を講じ、乳牛改良や飼養管理技術を通じて地域酪農へ貢献して行きたいです。

新規エクセレント獲得表彰

中春別乳牛改良同志会では1月21日(木)に「令和2年度新規エクセレント獲得表彰」を受賞した会員宅へ訪問し、執り行いました。

令和2年度に新規エクセレントを獲得したのは、美原地区浮川優さんが2頭、中春別地区目黒雅明さんが1頭とそれぞれ獲得され、寺澤同志会

会長より記念品が渡されました。

中春別では現在までにエクセレント獲得頭数が243頭と全国を見てもトップクラスの結果を残しています。さらなる成果を目指し、乳牛改良に邁進して頂きたいです。



新規EXを獲得された浮川優さん



新規EXを獲得された目黒雅明さん

ボランティア組織「そよかぜ」の解散

ボランティア組織「そよかぜ」では「できることからはじめよう」を活動方針とし、高齢者向けボランティア組織として活動してまいりましたが、会員の高齢化や活動人数の減少により、これ以上の組織の運営が難しいと判断したことから3月31日をもって組織を解散することといたしました。皆様には大変申し訳ありませんが、ご理解いただきませうようよろしくお願いいたします。

つきましては、お誕生日はがきの送付、ウエス及びリングプルの回収・寄付につきましては、3月末をもちまして終了いたします。金融窓口にて回収箱を設置しておりますが、期日になり次第撤去いたしますので、寄付していただけた方はお早めにご持参くださいませうようお願いいたします。これからは一人ひとりが「できることから」ボランティア活動を行ってまいります。長い間ありがとうございました。





写真コンテスト結果発表

中春別乳牛改良同志会主催で行いました「第41回ホルスタイン写真コンテスト」予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを同志会三役にて協議し、正解は**経産牛 C→E→D 未経産牛 F→A→D**となりました。

見事全問正解されたのは目黒雅明さんでした。正解率の高い方を抽選の結果、今村茂さん、藤原香さん、竹田真由美さん、目黒真由さん、小菅加奈子さん、井上雄友さん、高棕崇さん、益田啓太さん、成田恵美さんに賞品を贈呈いたしますので、JA中春別畜産課畜産指導係までお越し下さい。

《講評》

JA中春別乳牛共進会にて活躍した牛達の中から序列付けをさせて頂きましたが、どの牛も中春別ホルスタインを代表する牛達でありました。

経産牛1位にしましたC号牛は乳房の形状、特に後乳房の高さが優れており、トップとさせて頂きました。

1位のC号牛と2位にしたE号牛の比較は、C号牛のほうが品位、質、全体のバランスにおいて優れており、トップと致しました。

2位のE号牛と3位にしたD号牛の比較はE号牛のほうが皮膚、被毛の薄さにおいて優れており2位としました。しかしながら、D号牛の力強さ、前乳房の付着の強さは評価しております。

未経産1位にしましたF号牛は体のバランス、各部位が最も正確であると判断しトップと致しました。

1位のF号牛と2位にしたA号牛の比較は、F号牛のほうが尻の構造、質感の点において優れていると判断し、トップと致しました。

2位のA号牛と3位にしたD号牛の比較は、A号牛のほうが、肋の方向、開張において優れており、2位と致しました。しかしながら、D号牛は前駆の力強さの点において優れています。

中春別乳牛改良同志会のページ

経産牛 1位 C



YMD ソブリン ダビューク ユリア RED
2006.5.4生 山田 博和氏 出品
父：ヘブンリー ダーナム ダビューク ET
(主なショウ歴)

- 平成23年度JA中春別乳牛共進会 第10部 成牛クラス1等賞1席(ベストアダー) シニア・チャンピオン
- 2011年北海道ブラック&ホワイトショウ 第13部 成牛クラス3位(ベストアダー)

2位 E



FR マツヨ リヴェレスト
2008.10.9生 浮川 優氏 出品
父：コムスター リヴェレスト
(主なショウ歴)

- 平成25年度JA中春別乳牛共進会 第9部 4歳クラス1等賞1席(ベストアダー) シニア・チャンピオン
- 第16回北海道総合畜産共進会(乳用牛部門) 第14部 5歳クラス1等賞3席

3位 D



ライプリー スポツタイー アドベント
2007.11.17生 山田 晃嗣氏 出品
父：KHW カイト アドベント RED ET
(主なショウ歴)

- 平成24年度JA中春別乳牛共進会 第9部 4歳クラス1等賞1席(ベストアダー) シニア・チャンピオン
- 平成25年根室ブラック&ホワイトショウ 第13部 成牛クラス1位(ベストアダー)

未経産牛 1位 F



YMD インター アイオン スター
2012.6.20生 山田 博和氏 出品
父：ミッドフィールド CCM アイオン
(主なショウ歴)

- 平成25年JA中春別乳牛共進会 第2部 育成ジュニアミドルクラス1等賞1席 ジュニア・チャンピオン
- 2013北海道ホルスタインナショナルショウ 第3部 未経産ジュニアミドルクラス2等賞4席

2位 A



ライプリー K ジャスパー リル ET
2010.8.3生 山田 晃嗣氏 出品
父：ウイルコックスビュー ジャスパー ET
(主なショウ歴)

- 平成23年JA中春別乳牛共進会 第2部 育成ジュニアミドルクラス1等賞1席 ジュニア・チャンピオン
- 2013北海道ホルスタインナショナルショウ 第11部ジュニア3歳クラス1等賞1席(ベストアダー) リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン

3位 D



ブルーミング ピーチエ ピーターチエ
2011.3.3生 妻沼 和紘氏 出品
父：レーガंकレスト ダンディー ET
(主なショウ歴)

- 平成24年JA中春別乳牛共進会 第4部 未経産ジュニアミドルクラス1等賞1席 ジュニア・チャンピオン
- 平成24年根室ブラック&ホワイトショウ 第3部 未経産ジュニアクラス1位 ジュニア・チャンピオン

●【酪農経営科】東北海道実績発表大会 ～農業クラブ活動・プロジェクト学習のまとめ～

1月14日(木)～15日(金)に、東北海道学校農業クラブ連盟実績発表大会が標茶高校を当番校として標茶町開発センターにて開催されました。



今年度農業クラブ活動
～校内意見発表大会～

大会は、プロジェクト発表分野Ⅰ類からⅢ類までと、各高校の農業クラブ活動の発表を事前に撮影・録画して、その動画審査という形での実施となりました。分野Ⅰ類は生産・流通・経営に関する発表、Ⅱ類は開発・保全・創造に関する発表、Ⅲ類はヒューマンサービスに関する発表がおこなわれ、本校からはⅠ類とⅡ類、Ⅲ類にそれぞれ1発表ずつとクラブ発表が出場しました。どの分野に出場した生徒たちも冬季休業中登校して、資料作成や発表練習・動画撮影など熱心に準備に取り組んでいました。残念ながら、各発表とも入賞を逃しましたが、継続したプロジェクト学習により、地域と共に交流活動をおこないながら、科学的にデータをとらえる力や社会性、指導性の向上、進路につながるヒントなど、多くの経験を積むことができました。



今年度プロジェクト活動
～動物バイオ班～
受精卵の研究

今年度の成果・反省をふまえ、現在、次年度へ向けて、各研究や農業クラブ活動の取り組みを進めています。

●【酪農経営科】現在の進路状況

今年度も卒業が近づいてきました。3年生の進路もほぼ全員が合格もしくは内定を得ており、今年度は、就農を目指すものが多く、酪農関連産業、食品関連産業へ進む生徒がみられます。

就職について、求人数がやや減り、進路実現に向けて早めの活動が必要でしたが、どの生徒も目標通りの就職を叶えることができている。産業教育で培った成果を十分発揮してくれるものと思われます。

今年度も含めると酪農経営科の卒業生の就職内定率は11期連続でほぼ100%となります。ご支援いただきました関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。なお、詳細は、次のとおりです。(1月20日現在)【就職】

自営、道東あさひ農業協同組合、別海町森林組合、(株)小泉機械店、(株)アシスト、(株)マクドナルド中標津東武店、(株)石川板金、社会福祉法人べつかい柏の実会、(株)別海清掃センター他

●【専攻科】第2回特別活動開催

12月10日(木)に第2回特別教育活動を実施しました。コロナ禍により実施できる事が限定された中で、今回は、10年前に公開された親子の絆を綴った動物映画の感動作『ウルルの森の物語』の鑑賞会を実施しました。



手作りホットドッグ

また、鑑賞の間に手作りの昼食を摂りました。

COVID-19感染防止に配慮しながら、第1回加工実習で作ったソーセージを使ったホットドッグやコーンポタージュを作りました。ホットドッグパンズは柏の実学園のカフェ・オークにお願いしました。それぞれ思い思いにトッピングし、個性あふれるホットドッグができあがり個々での食事をしました。その後、後半の映画を鑑賞し終わりました。

今回、密を避けた形での実施になり、いつものような活発な交流はできませんでしたが、十分に親睦を深める事ができました。

●【専攻科】冬季交通安全教室

12月24日(木)に冬季交通安全教室を実施しました。中標津自動車学校の先生に講師を依頼し、雪道運転の技術講習をして頂きました。あいにく積雪はなく、雪道ではありませんでしたが、雪道を想定しての実施となりました。



交通安全教室の様子

学生の中には、雪道を経験したことのない学生や、免許取得から間もない学生も在籍しており、安全運転や冬道に向けてのポイントやルールを改めて知ることができました。

講習を終えた学生からは「実際の圧雪・アイスバーンではなかったが、教えていただいた運転のコツを今後の通学などで活かし、事故などにあわないようにしていきたい」という声がかれました。

●【専攻科】令和3年度学生募集について

一次募集の入学試験は2月2日(火)に試験をおこないましたが、二次は3月10日(木)願書締切り、3月25日(木)試験日となっております。また、その後4月7日(木)まで随時募集をおこないます。学歴は高校卒業以上で、18歳以上の方でしたら年齢制限はありません。酪農について基礎から学びたいと考えておられる方は是非お問い合わせください。

●【専攻科】今後の行事日程

2月12日(金)乳加工実習、16日(火)農産加工実習、19日(金)経営面接指導、25日(木)特別教育活動【予備会】、3月1日(日)修了式、18日(木)基礎研究活動発表会19日(金)進級ガイダンス、25日(木) 二次募集の試験日を予定しています。



生乳課情報

令和3年1月31日現在

R22冷媒を使用した冷凍機・バルククーラーをお使いの皆様へ

既に各ご利用メーカーより連絡を受けている事とは存じますが、一般的にバルククーラー冷媒として使用されているR22フロンガスが環境問題に伴い一昨年より製造中止となっており今後、R22フロンガスの入手やガス漏れなどの修理は困難になることが予想されます。

つきましては、対象冷凍機・バルククーラーを

ご使用の生産者におかれましては、今一度各ご利用メーカーにご確認、ご相談し今後に向け計画的な冷凍機・バルククーラーの更新をご検討していただきたく存じます。

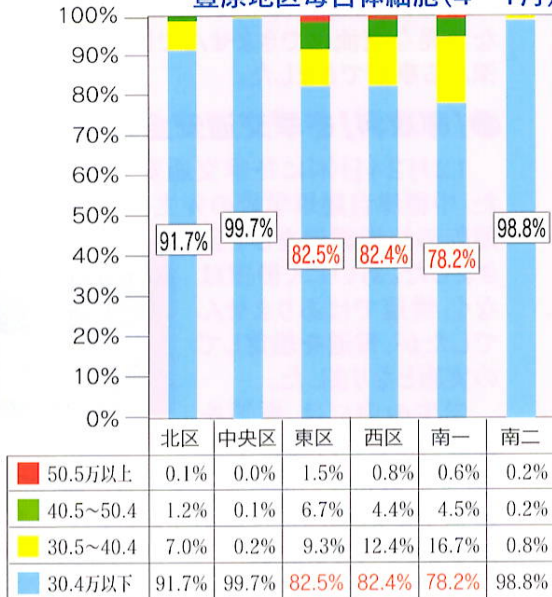
冷凍機・バルククーラーの更新は高額な費用が発生いたしますので各営農担当とも十分協議の上、取り進めをお願いいたします。

- 抗菌性物質混入事故……………JA中春別発生件数 **2**件 管内合計では**6**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**4**件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

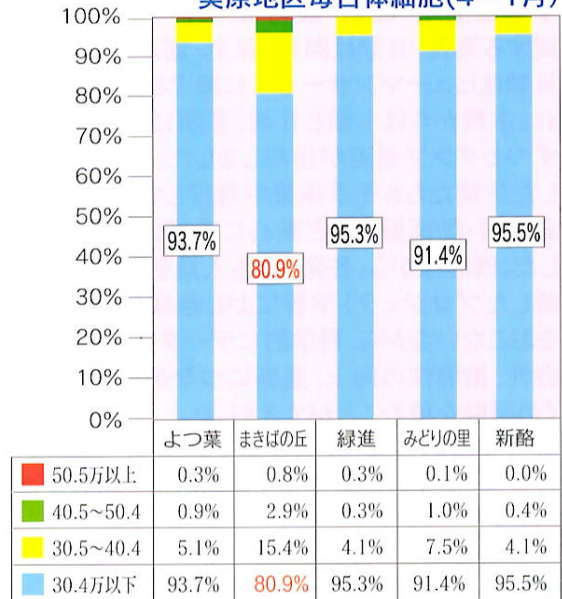
STOP! 生乳汚染事故! 日々の努力が報われますように

良質生乳生産推進委員会からの標語

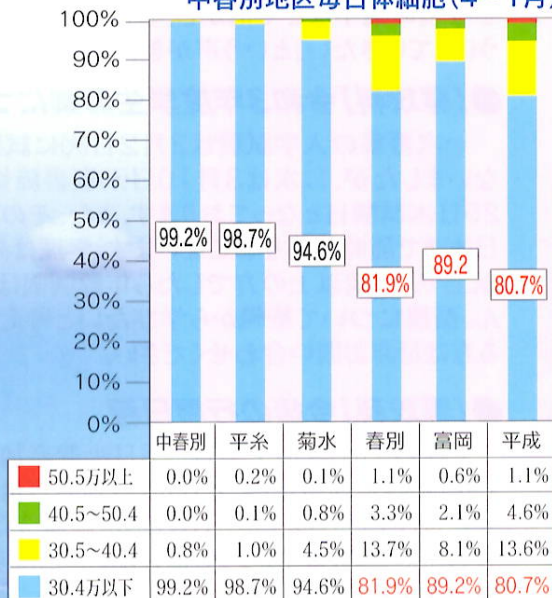
豊原地区毎日体細胞(4~1月)



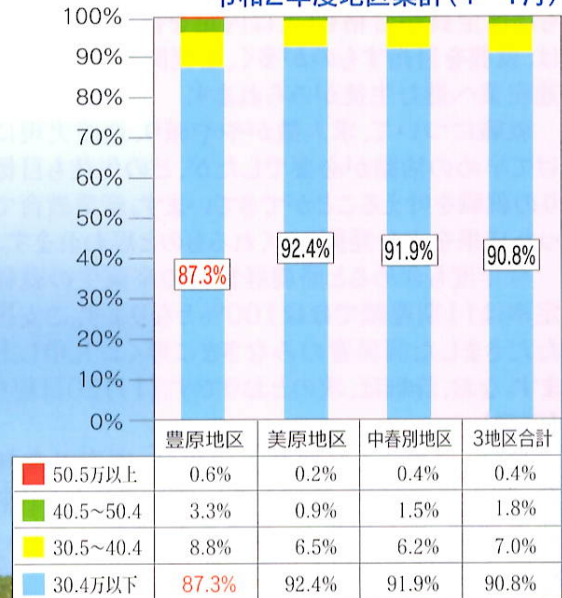
美原地区毎日体細胞(4~1月)



中春別地区毎日体細胞(4~1月)



令和2年度地区集計(4~1月)



JAグループ通信

JA北海道中央会



全国農業協同組合中央会は、「国産国産※」の理解醸成をすすめるため、情報発信のメインターゲットとする若年層に強い影響力を持つアイドルグループ「乃木坂46」を起用し、特設WEBサイトを展開しております。

特設WEBサイトで展開するクイズコンテンツを用いて、国内農業が抱える諸課題（生産基盤の弱体化、食料自給率の低迷等）について、乃木坂46のメンバーがわかりやすく解説しており、メンバーと楽しく学べるスタイルとなっております。その他、メンバーからの国内農業に対する応援メッセージの掲載や、メンバーがそれぞれの「推し食材」を食べる動画も公開しておりますので、是非ご覧ください。

○特設WEBサイト

HPアドレス：<https://www.asahi.com/ads/nogizaka46ja/>



※「国産国産」とは、国民が必要とし消費する食料は、その国で生産することが基本であるという考え方。

JA北海道信連



JAバンク北海道は、2018年より地域活性化を目的に、ファイターズとスポンサー契約を締結しています。この權益を活用して、これまでキャンペーン等を実施してまいりました。また、ファイターズがCSR活動として実施している「ゆきのね奨励金」にも協賛し、子どもたちを対象にしたウィンタースポーツの普及を支援しています。先ごろ、「ゆきのね奨励金」の贈呈式が札幌ドームで催されました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道では、地域貢献活動の一環として、帯広農業高校と岩見沢農業高校の2つの農業高校に、実践教育用の農業機械としてトラクターを寄贈いたしました。

この活動は農業後継者の育成支援を目的に、令和2年度から実施することといたしました。

この取り組みによって、農業の未来を担う学生たちの実習環境がさらに向上し、学生たちがより実践的な知識や技術を習得することで、将来、農業分野のスペシャリストや農業後継者として活躍することを願っています。

ホクレン



ホクレングリーンネットショップが2月から「HOKUREN GREEN +PLUS (ホクレングリーンプラス)」にリニューアル!引き続き全国のお客さまに、北海道産農畜産物のコアファンとなっただけのようなオンラインショップを運営してまいります。出品希望商品などございましたら、お気軽にご相談ください。



<https://www.hokuren-greenplus.jp>

JA北海道厚生連



このたび本会では、組合員ならびに地域住民の皆様への情報発信の場として、公式Twitterを開設いたしました。本会の情報はもちろん、各事業所におけるイベントの開催情報やその様子など、四季折々の情報を発信してまいります。開設したばかりではございますが、皆様にとって有益な情報を発信できるよう努めてまいりますので、QRコードより当アカウントのフォロー登録をお願いいたします。



https://mobile.twitter.com/ja_hokousei
https://mobile.twitter.com/ja_hkoustre

大地がひとを強くする。

AGRIACTION!

HOKKAIDO



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

消費拡大グッズ・乳製品の配布

青年部

12月21日(月)青年部では中春別小学校・中学校に消費拡大グッズ、乳製品の配布を行いました。

昨年においては、コロナ



中春別小学校



中春別中学校

禍における、各種イベントの自粛、学校などの臨時休業、飲食店の時間短縮営業などにより、外食の需要減少が起こり、農業分野にお

ける乳製品などの消費にも大きな影響を及ぼしております。
このことから青年部では、コロナ禍にあってはその苦境にも負けず、日々生活に更に邁進していただき、少しでも多くの牛乳・乳製品需要喚起や消費拡大を図りたいという思いから、ノートやファイルなどが入ったミルクランドグッズと、さけるチーズを配布させていただきます。

Heart Post回収物変更のお知らせ

女性部

当女性部では収集ボランティア活動として使用済み切手の収集を行ってりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりジョイセフにて収集物の内容と取り組みが見直された結果、使用済み切手の収集が終了されることに伴い当女性部でも収集を終了することとなりました。

つきましては、令和3年2月18日(木)にて使用済み切手の回収を終了いたします。

また、令和3年度収集ボランティアへの取り組み方針について、活

動内容が決定次第お知らせいたします。
書損じはがき・未使用プリペイドカードにつきましては継続回収となっておりますので引き続きご協力をお願いいたします。



12月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

12月分乳代支払単価

12月 乳質乳価一覧表				(単位:円/)			12月分乳代支払単価	
		単 価		支 払 額	前 期	年 差	項 目	単価(円)/(kg)%
乳 脂 肪 分		956.821		39.33	39.86	-0.53	乳 脂 肪 分 ①	39円33銭
無 脂 乳 固 形 分		606.487		53.73	54.89	-1.16	無 脂 乳 固 形 分 ②	53円73銭
生 産 者 補 給 金		6.5529		6.55	6.49	0.06	生 産 者 補 給 金 ③	6円55銭
集 送 乳 調 整 金		2.0030		2.00	1.95	0.05	集 送 乳 調 整 金 ④	2円00銭
補 給 金 合 計		8.5559		8.55	8.44	0.11	脂 肪 率	全 道 4.11%
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	326,351,476.9kg	3.81	3.76	0.05	農 協 4.21%
		ランク2	0	7,267,507.0kg				無 脂 固 全 道 8.86%
		ランク3	-3	98,491.0kg				農 協 8.80%
	体細胞数	ランク1	2	304,412,002.4kg				成 分 乳 価 全 道 101円61銭
		ランク2	1	15,452,210.51kg				①+②+③+④=⑤ 農 協 102円18銭
		ランク3	-2	3,145,209.5kg				乳 質 乳 価 全 道 3円81銭
合 計				105.42	106.95	-1.53	⑥ 農 協 3円77銭	
							乳 代 合 計 全 道 105円42銭	
							農 協 105円95銭	
							⑤+⑥ 差 異 0円53銭	



第11回 理事会の動き

令和2年12月23日(水)

報告事項

1. 組合員の加入について
2. 組合員の脱退について
3. 令和2年度飼料奨励金(農協利用奨励・大口取引奨励)の支出について
4. 子会社における固定資産取得状況について
5. 令和2年度11月末営農関連実績について
6. 令和2年度草地難防除雑草駆除技術実証事業に係る実績について
7. 令和2年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について
8. 令和2年度集荷路線除雪について

議案

1. 出資金の減口及び組合員資格の変動について
2. 育児及び介護休業規程の一部改正について
3. 令和2営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
4. 令和2営農年度クミカン精算見通し及び令和3営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
5. 令和3営農年度機械利用組合クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
6. 別海北部地区国営かんがい排水事業について
7. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

第12回 理事会の動き

令和3年1月25日(月)

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 令和2年度12月末財務状況について
3. 令和2年度12月末購買事業実績について
4. 固定資産の取得について
5. 子会社における固定資産の取得状況について
6. 令和2年度12月末営農関連実績について
7. 令和2営農年度クミカン精算状況について
8. 令和3営農年度階層区分について
9. 令和3営農年度信用限度について
10. 令和2年度自給飼料生産性向上対策事業に係る実績について

議案

1. (株)なかしゅんべつ未来牧場に係る資金の貸付について
2. 定款の一部改正について
3. コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
4. 令和2年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
5. 草地整備促進支援事業(案)の実施について
6. 令和3営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
7. 令和3営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について
8. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

組合員の広場

新年賀状



新春を迎え平素のご厚情を斟酌し
皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます

令和3年 元旦

〒086-0654 野付郡別海町中春別115番地17

株式会社 なかしゅんべつ未来牧場

代表取締役社長 望月 英彦

外役職員一同

TEL (0153)76-2040

FAX (0153)76-2016

今年は丑年ということ、(株)なかしゅんべつ未来牧場では例年よりも気合を入れて年賀状の作成をしました。5人の研修生と職員で牛の撮影会をし、その中から職員の竹田全さんが撮影した一枚を年賀状に採用しました。皆さんはどのような年賀状を作りましたか。



撮影の様子

今月号の組合員の広場は(株)なかしゅんべつ未来牧場の年賀状を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。

なかしゅんべつ

2021

2月号

Vol 517

アドレス <http://www.ja-nks.jp>

企画・発行/JA中春別営農振興課営農振興係
野付郡別海町中春別南町3番地 TEL (0153) 76-2241